

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	観光振興事業			基本計画	節	3	総合戦略	基本目標	3
事業コード					テーマ	3		施策の方向	2
課係名	商工観光課	内線			施策	2		施策	1
担当者氏名		職名			主な施策展開	1		整理番号	

事業実施の経緯（現状）
 本市の観光資源は茂原公園桜まつりや茂原七夕まつり等に依存するイベントであり、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度より中止が続いている。また、これまでも天候による開催リスクがあり、茂原七夕まつりを例にとると、例年80万人と年間の観光入込客数に大きく影響を与えている。さらには、近年大量に集客する観光から個人のニーズを大切にす観光へと変化してきており、多様化するニーズや、コロナ禍のような社会的要因による中止に対応するため、期間限定の一極集中型のイベントに依存せず、通年の観光関係人口を分散させた経済効果を狙う必要があり、一年を通しての観光資源を開発する必要がある。

めざす姿・ねらい（目標・目的）
 茂原市の発展を支え続けてきた天然ガスなど、本市の資源を活用した観光資源を体験型として磨き上げ、さらに既存のロケツーリズムとともにガイド育成による付加価値化を目指し、また、ジビエをはじめとする地元グルメ開発のおもてなしや既存観光イベントに新たな魅力を追加し、併せて地域の様々な関係者が一体で取り組むことによる、新たな観光資源を開発するため、令和4年度観光庁補正予算「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業」に公募する。これを、本市の観光事業をけん引する茂原市観光協会が実施することにより、健全に関係企業と連携でき、販売並びに販路拡大まで視野に入れることができるため、茂原市観光協会の自己負担分について、補助を行う。

実現するための課題（問題点）
 ①観光客目線にたったコンテンツ開発、観光客のニーズを的確に把握するとともに、専門家の知見を活用する必要がある。
 ②多様な地域の団体と緊密な連携を図り、取り組む必要がある。

具体的な取組（解決策）
 ①産業観光やロケツーリズムなどのコンテンツ開発を行う。
 ②モニターツアーの実施
 ③新型コロナウイルス感染症対策

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			R4年度	年度	年度
■ 活動指標	磨き上げコンテンツ数		7コンテンツ	7		
■ 成果指標	アンケート満足度		満足した人の割合80%以上	80%		

実施根拠
 有 無
 法令計画名 ① ②
 ③ ④
 補正予算 令和3年度観光庁補正予算「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業」を活用するため。(申請締切4月15日)
 要求理由

事業継続
 単年度 複数年度:無期
 複数年度:有期[始期 ~ 終期] 後年度負担 有 無
 内容

事業費の積算(千円)	年度	事業費	人工数	事務スケジュール	
				年月	内容
4年度	茂原市観光協会補助金 〔コロナ臨時交付金 2,500千円〕 観光庁補助金 7,500千円	事業費	10,000	事務スケジュール	4.4 公募締切
		国県	10,000		
		市債			
		その他			
年度		一般財源	0	4.5 事業採択	
		事業費		4.6 交付決定	
		国県		事業実施	
		市債		5.2 実績報告	
年度		その他			
		一般財源	0		
		事業費			
		国県			
年度		市債			
		その他			
		一般財源	0		
		事業費			
年度		国県			
		市債			
		その他			
		一般財源	0		

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境や市民ニーズと整合があるか。 ・市が事業を行うことについて妥当であるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	イベントによる一過性でない、地域資源を活用した通年型の観光コンテンツ開発により、地域の活性化に取り組む必要がある。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。 ・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	本事業を実施することにより、看板商品として本市の観光資源である産業やロケ誘致、グルメなどの開発、磨き上げを行うことができる。また、連携した協力企業のイメージアップにつながり、ひいては本市の産業の活性化に寄与する。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	令和2年度「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業、令和3年度「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業から引き続き実施することで、磨き上げた事業をさらに熟成させ、販路拡大につなげることができる。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> ・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。 ・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	令和3年度観光庁補正予算「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業」の活用、また民間事業者による商品化が見込める。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価	◎評価理由	
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	提案どおり実施するものとする。但し、補助金（国、コロナ交付金）の確保を前提とする。
	■政策調整会議による評価		
	評価	◎評価理由	
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	従来から行っている市内工場見学を観光資源として磨き上げ、さらにロケツーリズムとともに、ジビエをはじめとする地元グルメ開発などの新たな魅力の創出に繋がる。
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。	